

「豪雨災害に関する意識」についてのアンケート集計結果

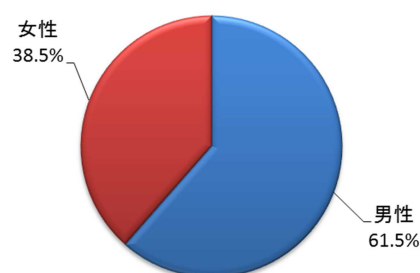
- ★調査時期：平成28年11月
- ★対象者：県政モニター 395人
- ★回答数：340人（回収率86.1%）
- ★担当課：土木交通部 流域政策局 流域治水政策室
- ★調査目的：県では、どのような洪水にあっても、“人命が失われること”や“生活再建が困難となる被害”を避けることを目的に、これまでの「川の中の対策」に加えて、「川の外の対策」を県民の皆さんと協働で実施していく「流域治水政策」を推進しているところです。
県民の皆さんの豪雨災害に関する意識等について把握し、今後の施策検討の参考とする目的でアンケート調査を実施しました。

(※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。)

◆あなたの性別を教えてください。

(参考)

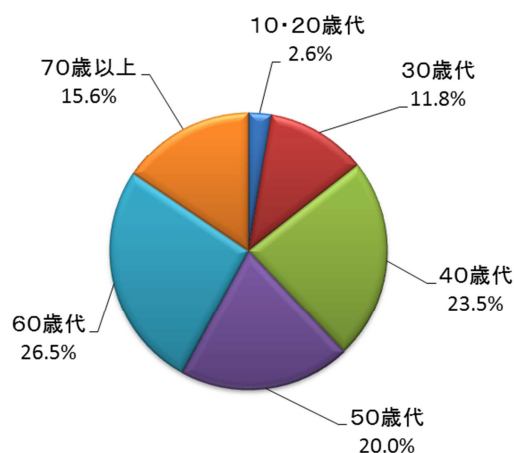
項目	今回(H28.11)		前回(H27.11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
男性	209	61.5	204	63.9
女性	131	38.5	115	36.1
合計	340	100.0	319	100.0



◆あなたの年齢を教えてください。

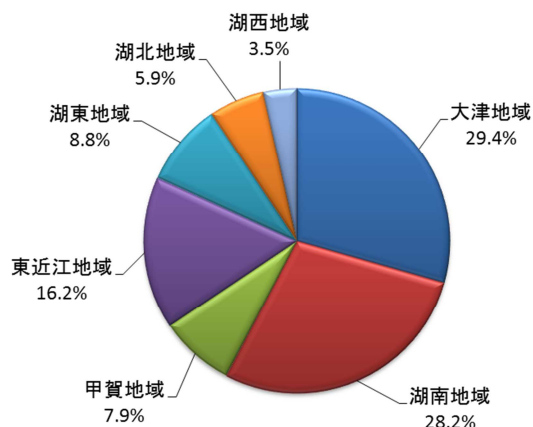
(参考)

項目	今回(H28.11)		前回(H27.11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
～20歳代	9	2.6	11	2.7
30歳代	40	11.8	34	12.3
40歳代	80	23.5	66	22.3
50歳代	68	20.0	65	18.3
60歳代	90	26.5	97	30.0
70歳以上	53	15.6	46	14.3
合計	340	100.0	319	100.0



◆あなたのお住まいの地域を教えてください。
(参考)

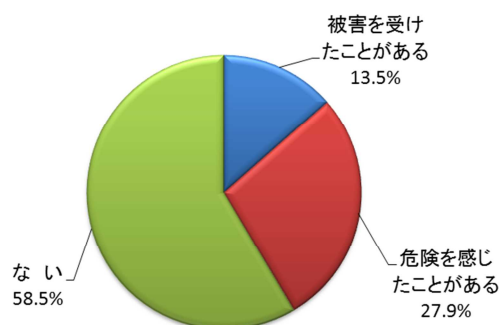
項目	今回 (H28.11)		前回 (H27.11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
大津地域	100	29.4	102	32.0
湖南地域	96	28.2	88	27.6
甲賀地域	27	7.9	22	6.9
東近江地域	55	16.2	46	14.4
湖東地域	30	8.8	27	8.5
湖北地域	20	5.9	19	6.0
湖西地域	12	3.5	15	4.7
合計	340	100.0	319	100.0



問1 近年、全国各地で水害や土砂災害が発生していますが、あなたは、過去に豪雨(台風を含む)によって被害を受けたり、危険を感じたりしたことはありますか。(回答チェックは1つだけ n=340)

(参考 n=319)

項目	今回 (H28.11)		前回 (H27.11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
被害を受けたことがある	46	13.5	48	15.0
危険を感じたことがある	95	27.9	101	31.7
ない	199	58.5	170	53.3
合計	340	100.0	319	100.0

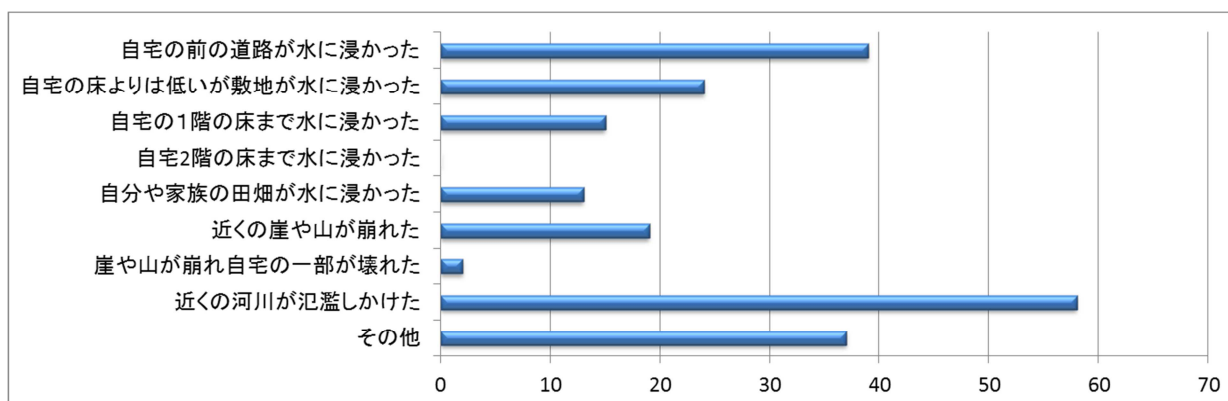


問2 問1で「1. 被害を受けたことがある」または「2. 危険を感じたことがある」と回答された方におたずねします。

その時の状況はどのようなものでしたか。(回答チェックはいくつでも可 n=141)

(参考 n=149)

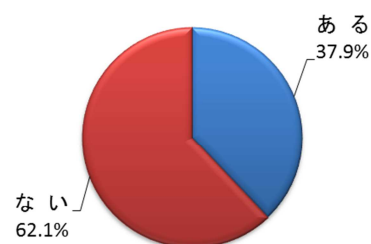
項 目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 自宅の前の道路が水に浸かった	39	27.7	42	28.2
2. 自宅の床よりは低い敷地が水に浸かった	24	17.0	19	12.8
3. 自宅の1階の床まで水に浸かった	15	10.6	18	12.1
4. 自宅2階の床まで水に浸かった	0	0.0	1	0.7
5. 自分や家族の田畑が水に浸かった	13	9.2	17	11.4
6. 近くの崖や山が崩れた	19	13.5	31	20.8
7. 崖や山が崩れ自宅の一部が壊れた	2	1.4	2	1.3
8. 近くの河川が氾濫しかけた	58	41.1	78	52.3
9. その他	37	26.2	29	19.5



問3 あなたは、今住んでいる地域で起きた過去の自然災害(被害)の話を、人から聞かれたことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=340)

(参考 n=319)

項 目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
あ る	129	37.9	137	42.9
な い	211	62.1	182	57.1
合 計	340	100.0	319	100.0

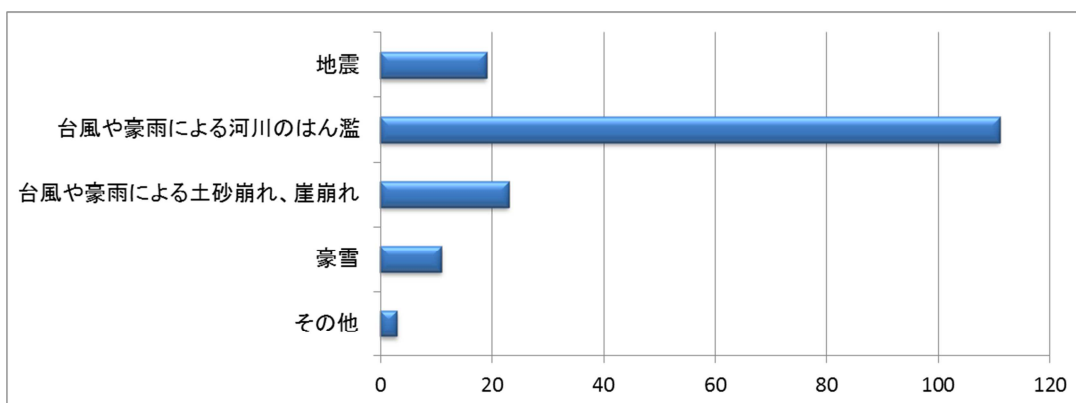


問4 問3で「1. ある」と回答された方におたずねします。

問3の話はどのような自然災害ですか。(回答チェックはいくつでも可。n=129)

(参考 n=137)

項 目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 地震	19	14.7	17	12.4
2. 台風や豪雨による河川のはん濫	111	86.0	120	87.6
3. 台風や豪雨による土砂崩れ、崖崩れ	23	17.8	37	27.0
4. 豪雪	11	8.5	22	16.1
5. その他	3	2.3	1	0.7

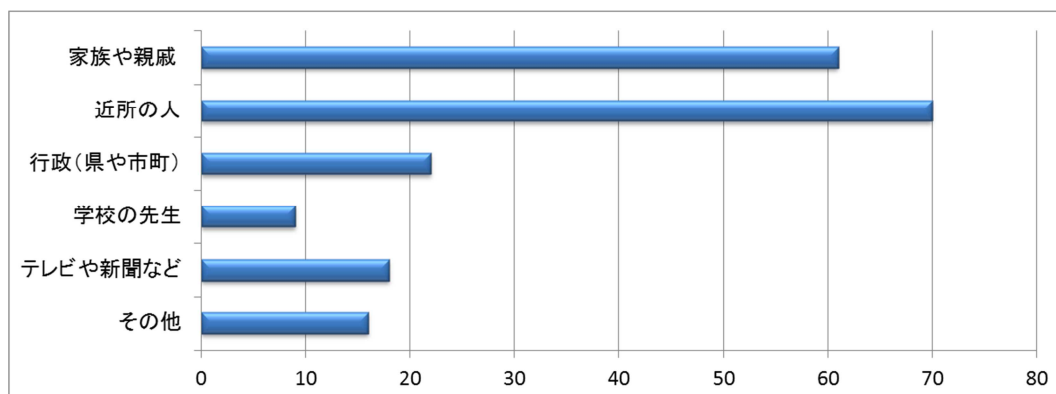


問5 問3で「1. ある」と回答された方におたずねします。

問3の話はどなたからお聞きになりましたか。(回答チェックはいくつでも可。n=129)

(参考 n=137)

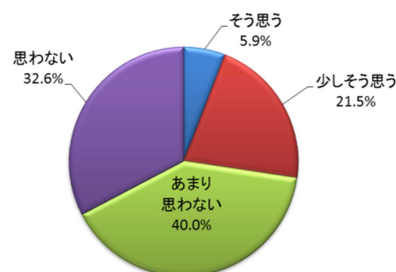
項 目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 家族や親戚	61	47.3	63	46.0
2. 近所の人	70	54.3	72	52.6
3. 行政(県や市町)	22	17.1	36	26.3
4. 学校の先生	9	7.0	6	4.4
5. テレビや新聞など	18	14.0	26	19.0
6. その他	16	12.4	13	9.5



問6 あなたは、今お住まいの家が今後10年以内に洪水による被害を受けると考えられますか。(回答チェックは1つだけ n=340)

(参考 n=319)

項目	今回(H28.11)		前回(H27.11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. そう思う	20	5.9	21	6.6
2. 少しそう思う	73	21.5	75	23.5
3. あまり思わない	136	40.0	123	38.6
4. 思わない	111	32.6	100	31.3
合計	340	100.0	319	100.0

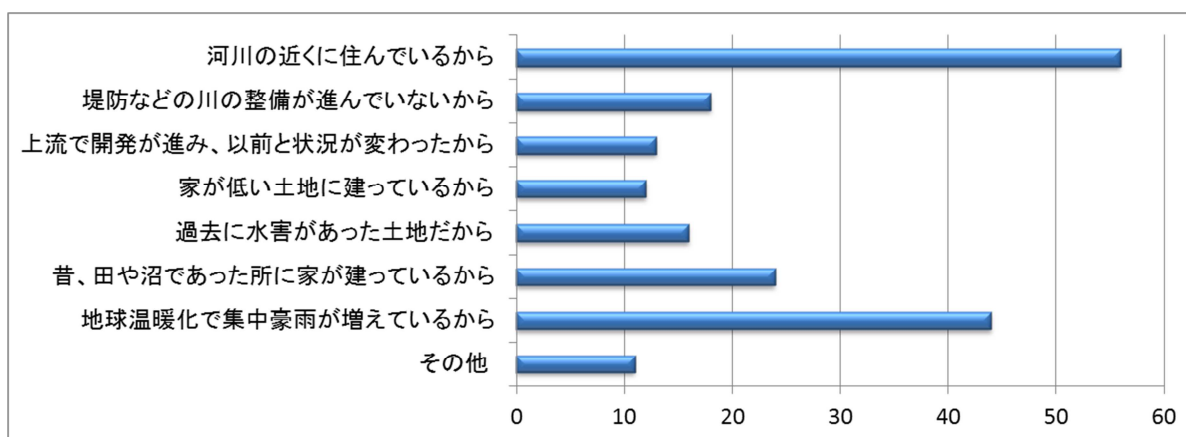


問7 問6で「1. そう思う」または「2. 少しそう思う」と回答された方におたずねします。

どのような理由から、そのように思われますか。(回答チェックはいくつでも可。n=93)

(参考 n=96)

項目	今回(H28.11)		前回(H27.11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 河川の近くに住んでいるから	56	60.2	45	46.9
2. 堤防などの川の整備が進んでいないから	18	19.4	19	19.8
3. 上流で開発が進み、以前と状況が変わったから	13	14.0	13	13.5
4. 家が低い土地に建っているから	12	12.9	14	14.6
5. 過去に水害があった土地だから	16	17.2	18	18.8
6. 昔、田や沼であった所に家が建っているから	24	25.8	17	17.7
7. 地球温暖化で集中豪雨が増えているから	44	47.3	58	60.4
8. その他	11	11.8	13	13.5

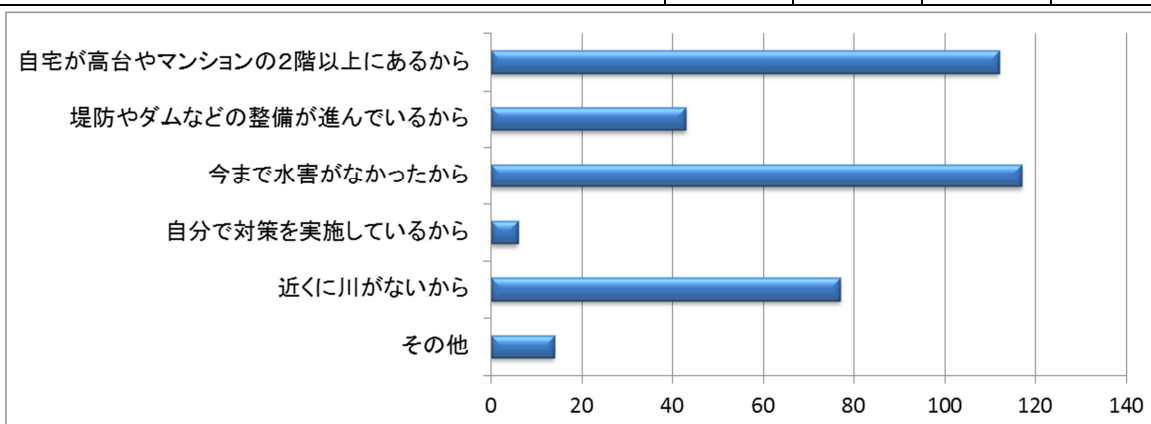


問8 問6で「3. あまり思わない」および「4. 思わない」と回答された方におたずねします。

どのような理由から、そのように思われますか。(回答チェックはいくつでも可。n=247)

(参考 n=223)

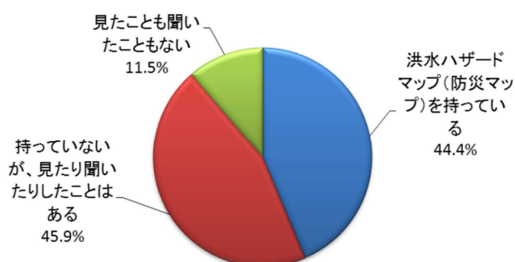
項 目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 自宅が高台やマンションの2階以上にあるから	112	45.3	96	43.0
2. 堤防やダムなどの整備が進んでいるから	43	17.4	41	18.4
3. 今まで水害がなかったから	117	47.4	95	42.6
4. 自分で対策を実施しているから	6	2.4	5	2.2
5. 近くに川がないから	77	31.2	69	30.9
6. その他	14	5.7	19	8.5



問9 浸水が予想される区域を示すものとして、お住まいの市町が配布する「洪水ハザードマップ（防災マップ）」がありますが、あなたはこれを見たり、聞いたりしたことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=340)

(参考 n=319)

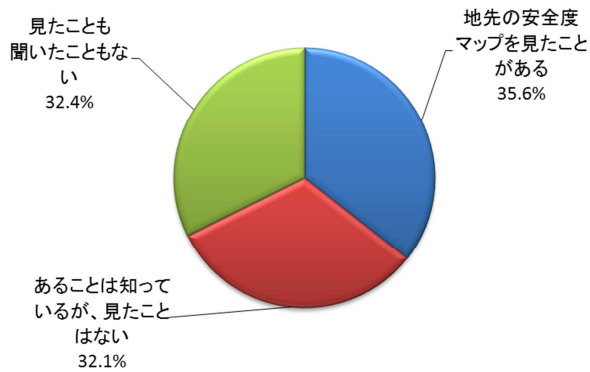
項 目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 洪水ハザードマップ（防災マップ）を持っている	151	44.4	141	44.2
2. 持っていないが、見たり聞いたりしたことはある	156	45.9	139	43.6
3. 見たことも聞いたこともない	39	11.5	39	12.2
合 計	340	100.0	319	100.0



問 10 浸水が予想される区域を示すものとして、滋賀県では、大きな河川だけではなく身近な水路や小河川の氾濫も含め、詳細な水害リスクを予測した「地先の安全度マップ」を作成し、滋賀県ホームページで公開していますが、あなたはこれを見たり、聞いたりしたことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=340)

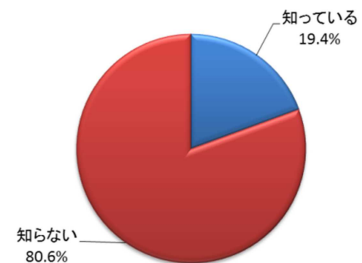
(参考 n=319)

項 目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 地先の安全度マップを見たことがある	121	35.6	126	39.5
2. あることは知っているが、見たことはない	109	32.1	93	29.2
3. 見たことも聞いたこともない	110	32.4	100	31.3
合 計	340	100.0	319	100.0



問11 滋賀県では、家や土地の売買・賃貸借の際に、水害リスク情報（地先の安全度マップや洪水ハザードマップ）を取引相手に示すよう努力義務規定を設けていますが、あなたはこのことについて知っていますか。（回答チェックは1つだけ n=340）
（参考 n=319）

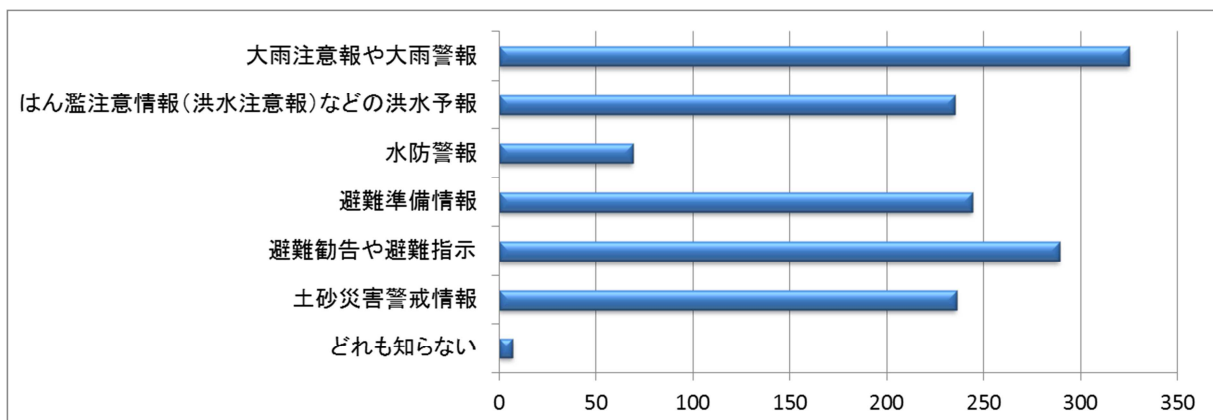
項目	今回 (H28.11)		前回 (H27.11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	66	19.4	76	23.8
2. 知らない	274	80.6	243	76.2
合計	340	100.0	319	100.0



問12 水害や土砂災害の発生する危険性が高くなった時に出る情報のうち、あなたが知っているものはどれですか。（回答チェックはいくつでも可。n=340）

（参考 n=319）

項目	今回 (H28.11)		前回 (H27.11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 大雨注意報や大雨警報	325	95.6	301	94.4
2. はん濫注意情報（洪水注意報）などの洪水予報	235	69.1	206	64.6
3. 水防警報	69	20.3	61	19.1
4. 避難準備情報	244	71.8	227	71.2
5. 避難勧告や避難指示	289	85.0	265	83.1
6. 土砂災害警戒情報	236	69.4	219	68.7
7. どれも知らない	7	2.1	8	2.5

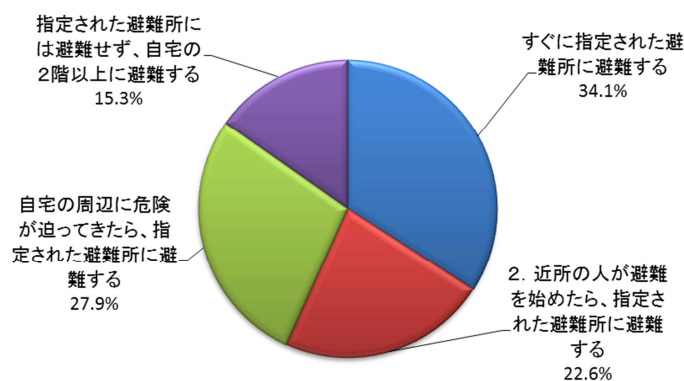


問 13 水害や土砂災害の危険が高くなり、市町から避難勧告が出された場合、あなたはどのような行動をとると思われますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(回答チェックは1つだけ n=340)

(参考 n=319)

項 目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. すぐに指定された避難所に避難する	116	34.1	134	42.0
2. 近所の人が始めたら、指定された避難所に避難する	77	22.6	58	18.2
3. 自宅の周辺に危険が迫ってきたら、指定された避難所に避難する	95	27.9	77	24.1
4. 指定された避難所には避難せず、自宅の2階以上に避難する	52	15.3	50	15.7
合 計	340	100.0	319	100.0

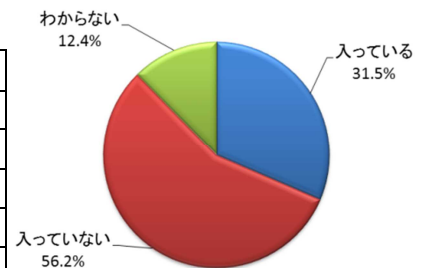
※ 自宅の周辺に危険が迫ってきた時には、避難場所へ避難することがかえって危険な場合もあります。2階まで浸水するリスクがある場所も存在し、そこでは2階への避難が危険な場合もあります。事前に地先の安全度（浸水深など）などを調べ、災害時は情報をしっかりと集め判断して下さい。



問 14 あなたは、火災保険に加えて、水害や土砂災害に備えた保険（住宅総合保険等）に入られていますか。(回答チェックは1つだけ n=340)

(参考 n=319)

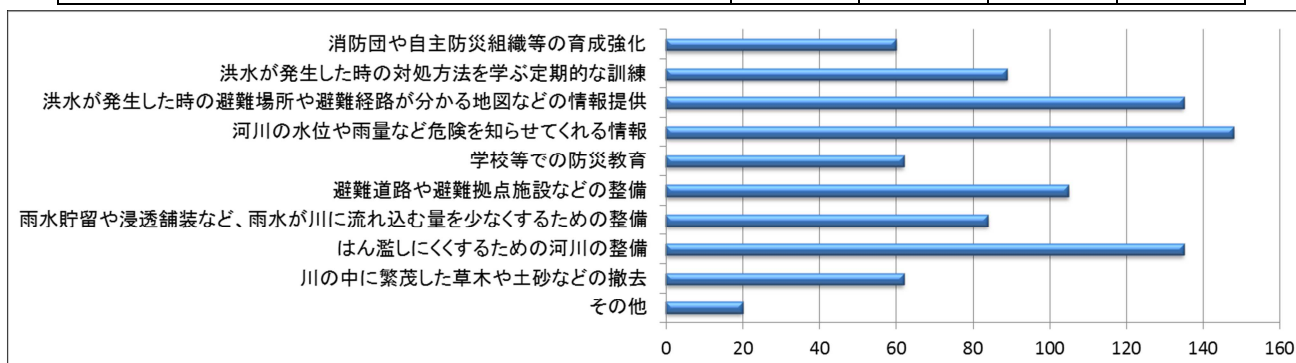
項 目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 入っている	107	31.5	87	27.3
2. 入っていない	191	56.2	183	57.4
3. わからない	42	12.4	49	15.4
合 計	340	100.0	319	100.0



問 15 洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取組を望まれますか。重視して進めるべきと考えるものを選んでください。(回答チェックは3つまで可。n=340)

(参考 n=319)

項 目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 消防団や自主防災組織等の育成強化	60	17.6	66	20.7
2. 洪水が発生した時の対処方法を学ぶ定期的な訓練	89	26.2	82	25.7
3. 洪水が発生した時の避難場所や避難経路が分かる地図などの情報提供	135	39.7	122	38.2
4. 河川の水位や雨量など危険を知らせてくれる情報	148	43.5	125	39.2
5. 学校等での防災教育	62	18.2	43	13.5
6. 避難道路や避難拠点施設などの整備	105	30.9	106	33.2
7. 雨水貯留や浸透舗装など、雨水が川に流れ込む量を少なくするための整備	84	24.7	82	25.7
8. はん濫しにくくするための河川の整備	135	39.7	137	42.9
9. 川の中に繁茂した草木や土砂などの撤去	62	18.2	74	23.2
10. その他	20	5.9	12	3.8

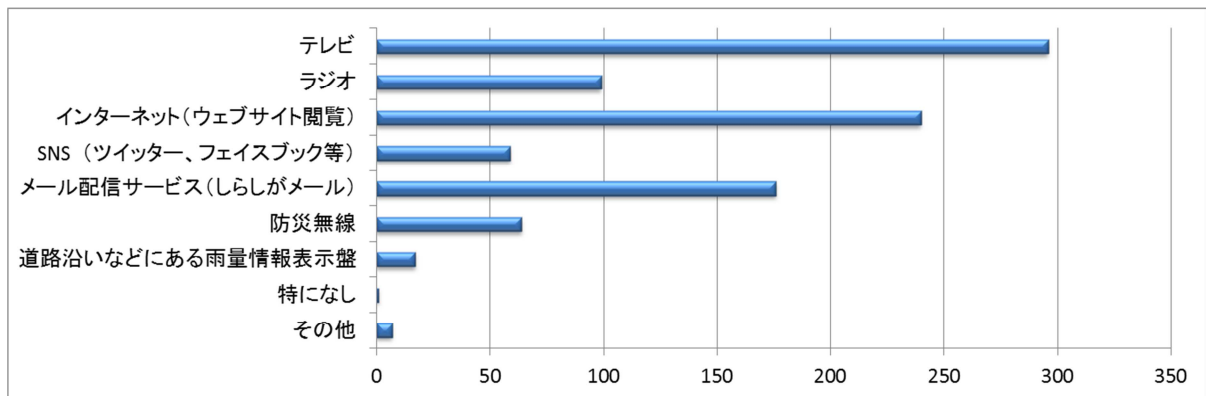


問 16 豪雨災害時の情報取得手段としてよく活用しているものを教えてください。

(回答チェックはいくつでも可。n=340)

(参考 n=319)

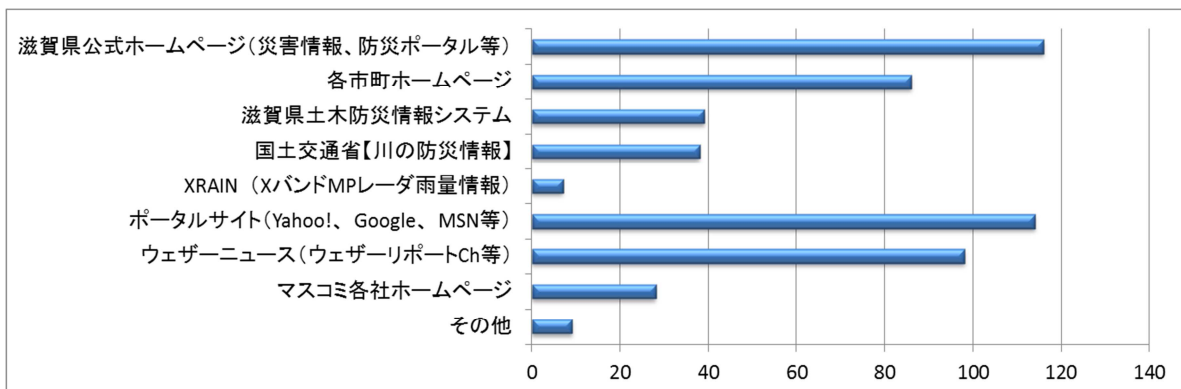
項 目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. テレビ	296	87.1	270	84.6
2. ラジオ	99	29.1	94	29.5
3. インターネット (ウェブサイト閲覧)	240	70.6	230	72.1
4. SNS (ツイッター、フェイスブック等)	59	17.4	46	14.4
5. メール配信サービス (しらがメール)	176	51.8	163	51.1
6. 防災無線	64	18.8	55	17.2
7. 道路沿いなどにある雨量情報表示盤	17	5.0	19	6.0
8. 特になし	1	0.3	2	0.6
9. その他	7	2.1	4	1.3



問17 問16で「3. インターネット(ウェブサイト閲覧)」と回答された方におたずねします。よく利用するサイトを教えてください。(回答チェックはいくつでも可 n=240)

(参考 n=230)

項目	今回 (H28. 11)		前回 (H27. 11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 滋賀県公式ホームページ(災害情報、防災ポータル等)	116	48.3	114	49.6
2. 各市町ホームページ	86	35.8	88	38.3
3. 滋賀県土木防災情報システム	39	16.3	47	20.4
4. 国土交通省【川の防災情報】	38	15.8	42	18.3
5. XRAIN (XバンドMPレーダ雨量情報)	7	2.9	9	3.9
6. ポータルサイト (Yahoo!、Google、MSN等)	114	47.5	101	43.9
7. ウェザーニュース (ウェザーリポートCh等)	98	40.8	89	38.7
8. マスコミ各社ホームページ	28	11.7	37	16.1
9. その他	9	3.8	9	3.9

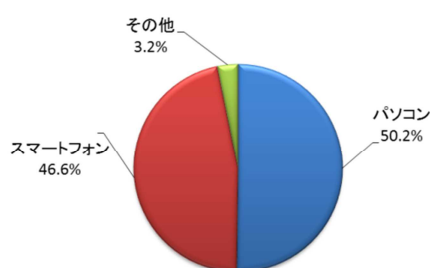


問18 問16で「3. インターネット(ウェブサイト閲覧)」または「4. SNS (ツイッター、フェイスブック等)」と回答された方におたずねします。

主に使用される機器はどれですか。(回答チェックは1つだけ n=249)

(参考 n=235)

項目	今回(H28.11)		前回(H27.11)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. パソコン	125	50.2	147	62.6
2. スマートフォン	116	46.6	80	34.0
3. その他	8	3.2	8	3.4
合計	249	100.0	235	100.0



問19 水害や土砂災害の被害を少なくするため、個人や地域ではどのようなことに留意する必要があると思われますか。ご意見がありましたらお聞かせください。

(主だった意見)

【個人で留意すること】

- 避難に関して積極的に行動すること。
- 住まい周辺の地理、過去の浸水被害などふくめ、よく知っておいた上で、建築に知恵を絞り防御する。
- 避難指示が出たら、速やかに避難をする。
- 自分の事は自分で守ることを前提に、日常の中で訓練などを通じて、自ら防災意識を高めることが大切であるとする。
- 身に迫るかもしれない危険を、漠然としか考えていない。これではダメだと思う。知ることが大事だと思う。恐ろしさが想像できていないのだと自己分析しています。行政が啓発されている講習会などに積極的に足を運んで、十分に起こり得る、ことだと理解することから始めたい。
- 情報を的確に把握すること。いざという時の避難場所の確認をしておくこと。
- より多くの方が、水害や土砂災害の知識を深め、防災や実際起こった場合の対処法(避難)に関心を持つことがまず必要だと思う。
- 年寄り体験を良く聞く。各地の被害を良く勉強する。
- 滋賀県はあまり災害が少ないので危機感がない人も多いからきちんと災害のこと勉強するべきかとおもう。

【地域で留意すること】

- ご近所との連携、訓練。
- 日頃からの防災訓練等により、いざという時に迅速に行動して被害にまきこまれな
いことが大切だと思う。特に高齢化の進んでいる地域では情報を知らなかったり、
消防が避難するよう放送してまわっても知らなかった、聞こえなかったと後から聞
いたので、近所同士で知らせ合うなどして避難できるようにすることも大切。
- 集落内の小河川も日ごろから気につけ、水路の整備に集落を挙げて取り組んでいま
す。
- 行政だけに頼るのではなく、地域住民での危険個所の洗い出し、避難方法の確認
等々自治会単位で把握しておくことが重要と考えます。
- 火災や地震の避難経路は自治会で定めているが、洪水については想定されていない。
逃げられる高台や建物を定めておく必要がある。
- 地域のコミュニケーションと連帯が重要と思います。

【その他】

- 過度な河川整備は自然破壊につながるものであまり好ましくないと考えている。大津
放水路のような放水路の整備が有効であればコストはかかるのかもしれないが好
ましい策と考える。
- 避難指定場所を今一度確認し、防災知識について、子供や高齢者、障害をもつ方に
も、知ってもらえる機会を与えてもらえると有難いです。
- 自分自身知識がほとんどないので、情報を提供してほしい。
- 過去の浸水被害状況が分かるデータ、地図等を役場に常備する。(分かり易い場所
に)
- 水害は、周辺の土地状況が、変わった場合は、見直すことも必要である。この点さ
れているかどうかである。問題がある場合は、水路形態の変更も必要である。地球
温暖化により、従来と異なるような、雨量形態になっている。この状態は、今後水
害に影響はないか、よく見直すことが必要だ。
- 特に河川周辺の地域については、情報の提供・具体的な避難方法・避難場所・避難
場所の運営について準備しておく必要があるとおもいます。
- しらしがメールは良いと思います。
- 非常時にパソコンを使用している余裕が無いと思われれます。防災無線等のエリア内
での、音声による情報の方が対応しやすいのではないかとと思われるので、正確に、
早く伝達されることを望みます。